（様式第３号）

企業・団体名 （ 株式会社美佐伝 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																	
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している		○		基本（必須）	○		企業研修用動画で社内研修を行う【予定】					●			●		●						●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している		○		基本（必須）	○		ハラスメント相談窓口を設置している					●			●								●	
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している		○		基本（必須）	○		長時間労働是正のための労働生産性の改善を行う【予定】					●			●									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる		○		基本（必須）		○	弊社では外国人労働者を雇用していない				●				●		●							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		社員向けの労働安全講習会の実施、安全標語に全社員で取り組み安全意識を高める			●					●									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		メンタルヘルス対策の一次予防としてストレスチェックを実施する【予定】			●													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		社員が活躍できるよう社内チャレンジを設ける【予定】					●			●		●							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している		○		基本（必須）	○		１級管工事施工管理技士取得を目指す 経費立替、合格奨励金制度の実施				●	●			●	●								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している		○		基本（必須）	○		パートタイマー労働法、労働契約法の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の対応を行っている					●			●		●							
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		１時間単位で有休を取得できる キャリアと私生活の両方について上司と部下で相互理解を深める	●		●		●			●		●							●
11		【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている		○		基本（必須）	○		取得対象者に対して制度の周知と意向を確認し、業務引継ぎ、復帰後の働き方ポジション等のフォロー体制を整備する			●		●			●		●							
12		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）						●					●									
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失職者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）				●	●	●		●			●		●	●						●
14	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		適切な廃棄物処理業者の選定とマニフェスト管理											●	●		●			
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本（必須）	○		自社のガソリン、軽油、灯油、電気使用量を年度ごとに算出する							●						●				
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		CARBONIXで灯油･ガソリン使用量からCO2排出量を可視化し削減目標を立てる							●					●	●				
17		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○			基本（必須）		○	弊社では有害化学物質を使用していない			●			●					●	●					

（様式第３号）

企業・団体名 （ 株式会社美佐伝 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本（必須）		○	弊社では、生物多様性や生態系に影響が及ぶ事業活動を行っていない						●								●	●		
19		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	○			基本（必須）	○		3Rや環境保全に積極的な企業から優先的に材料等を調達する												●		●			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	○		○	基本（必須）			太陽光発電で再生可能エネルギーを活用している							●						●				
21		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	○			チャレンジ（任意）									●											
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	○			チャレンジ（任意）						●			●	●					●	●	●	●		
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	○			チャレンジ（任意）															●					
24		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	○		○	チャレンジ（任意）										●		●			●	●	●	●		
25	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本（必須）	○		汚職･贈収賄防止に取り組む【予定】																●	
26		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本（必須）	○		他社の営業秘密を不正取得しないように指導する																●	
27		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		顧客データをパスワード管理している								●	●								
28		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本（必須）	○		情報管理ツール使用している																●	
29		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って**いないこと**を確認している		○	○	チャレンジ（任意）																			●	
30		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	○	○		チャレンジ（任意）								●			●		●		●	●	●	●	●	●
31		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/		○		チャレンジ（任意）						●					●	●	●							●

（様式第３号）

企業・団体名 （ 株式会社美佐伝 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本（必須）	○		想定されるリスクのリスト化と対策を実施			●									●					
33	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本（必須）	○		品質向上のため、社外研修･講習の積極的受講									●								
34	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○		○	チャレンジ（任意）									●						●	●	●	●		
35	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ（任意）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
36	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本（必須）			水まわりのトラブルに365日対応し地元住民の生活基盤を支える				●					●		●	●		●	●		●
37	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ（任意）							●							●			●	●		●
38	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している		○	○	チャレンジ（任意）											●	●		●	●	●				
39	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している		○		基本（必須）			経営者が理念を持ち経営目標を全社員に周知共有する【予定】								●	●								●
40	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		○		基本（必須）			社内掲示板で法令順守の重要性を発信している																●	
41	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		○		基本（必須）			担当者を選任する【予定】																●	
42	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本（必須）			経営者は常に自社の活動がどのような影響があるのか把握する																●	●
43	組織体制	【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取り組んでいる		○	○	基本（必須）			DX推進に、CCUSを導入している			●					●	●								
44	組織体制	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		○		チャレンジ（任意）																			●	
45	組織体制	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）																			●	
46	組織体制	【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ（任意）												●		●		●			●	
47	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ（任意）											●	●								●

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

（様式第３号）

企業・団体名 （ 株式会社美佐伝 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。